

支部だより



関東支部支部長
谷 福丸

関東支部総会を終えて

母校は、全日制県立移管八十周年、定時制本校移管五十周年を迎え、昨秋盛大に記念式典が挙行されました。私も関東支部を代表して式典並びに祝賀会に参加させていただきました。改めて母校の変遷をふり返り、今日の隆盛を築き上げた歴代校長をはじめ、諸先生方並びに関係各位に心より感謝いたします。

さて関東支部は、吉川利和氏（昭和三十一年卒）をはじめ東京在住有志のご尽力により、昭和四十六年に田川東高等学校東京地区同窓会として任意に発足したと聞いております。以来三十六年、中本国男（昭和二十七年卒）初代会長、二神俊昭（昭和二十七年卒）二代会長、松村啓史（昭和三十一年卒）

三代会長の献身的なご尽力の下に発展して参りました。本部同窓会とは昭和五十一年に連携を持つようになり、秋の役員会で支部結成を決定、昭和五十二年四月十日の総会から東鷹同窓会関東支部（当初は東京支部）と呼称するようになり

ました。東京地区同窓会として発足した関東支部は、今日では関東だけでなく北海道、東北、北陸を含む広範な地域に案内し多くの方に出席いただいています。また毎回、恩師及び本部、母校からもはるばるお越しいただき、錦上花を添えていただいています。

本年は、去る六月十七日（日）アルカディア市ヶ谷におきまして開催いたしました。一〇〇名に及ぶ方々にご参加いただき、又はるばる田川から香月副会長、母校の稲富総括教頭にお越し戴き盛大にとり行うことが出来ました。

関東支部には約一〇〇〇名の同窓生がいます。故郷を遠く離れているせい、九州、とりわけ筑豊の匂いのするものをたいへん懐かしがります。本年も、佐渡（西部）房子本部副会長（昭和二十六年卒）からの黒ダイヤの差し入れを参加

者全員にお配りでき、又田川饅頭を大月堂伊田本町店さん（篠原（延永）源子Ⅱ昭和三十九年卒）にも協力願ひ皆さんに懐かしんで頂きました。また、神幸祭のカレンダーや田川市町村広報誌等々、故郷の匂い満載の品々をお渡しできました。会場には神幸祭や数十年前の田川の写真パネルが、所狭しと展示され故郷ムードが醸されました。そして、ファイナルはお馴染みの炭鉱節です。アンコールアンコールで閉会行事に移るのに苦労いたしました。それはまた、参加者の故郷を思う心の高揚であり主催者として喜びこの上ないものであります。

準備に当たられた山崎文義（昭和三十四年卒）副支部長、馬淵哲夫（昭和三十七年卒）事務局長をはじめ役員幹事一同のご苦勞を労うとともに、この場をお借りし、各位に心よりお礼申し上げます。

今回は、二年後の二〇〇九年開催を予定しています。「友あり遠方より来る、また楽しからずや」健康に留意され、多くの皆様との喜びの再会を念じています。

